

ドキュメンタリー映画

本編 東京向島

# 地唄箏曲演奏家 小野真由美



制作意図 II

上映時間 127分

「朝日のあたる家」の曲が聞こえていた。  
映画編集の間 昔、耳に馴染んでいたフォークソング「朝日のあたる家」の曲が聞こえていた。

最初の撮影は東京向島であった。昔、小学生の途中まで似たような繁華街で暮らしていた。

撮影を重ねながら、昔懐かしんだ「その景色」や「その街の匂い」を表現できるのではないかと思っていた。

力があるものの社会と、人を許す能力がある社会。  
それは欲望と非人格、対する、知性と情緒の相対図のようである。  
理性が求める社会は、美しいものを育てゆく。

日本の伝統文化である地唄箏曲の世界にいらっしゃる小野真由美さんやそのお弟子さんたちの上品な所作や穏やかな立ち振る舞いは、その真反対の、女性とは生態の違う男性社会への抗議をさらに際立たせていると思われた。

日本女性の、美しく清楚な凛とした姿とは本来そのような意味合いのものであると気付かされるのであった。

記録映画 地唄箏曲演奏家  
小野真由美



制作 NPO 法人シネマステーション大分

制作総指揮 海野聖司

撮影スタッフ

日本映画学校 卒業生の皆様

監督 海野聖司

撮影 海野聖司

編集 海野聖司

整音 宮野佳枝

音楽 森拓治

NPO法人シネマステーション大分

大分市緑が丘3丁目4番5号

携帯090-1348-8450